

2022年度事業報告書

自 2022年4月1日 至 2023年3月31日

特定非営利活動法人 りあん

I 全体の概要

障害のある人々が地域であたりまえに生活していける社会の実現を図るため、障害のある人の自立・生活支援や、誰もが暮らしやすい街づくりに関する提言などを行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とし活動した。

今年度も新型コロナウイルス感染症への対応や感染予防等が続いたが、そういった中でも居宅介護等においては24時間365日の支援を継続できた。またコロナ以後、外出を控えてこられた方に対するアプローチも実施し成果もあった。相談支援事業所としては、当事者同士の交流企画を意識的に開催したほか、新たに機能強化事業所として他の相談支援事業所のフォローなどの役割を担った。

また従前から課題であった理念の周知について具体的に動いた年であった。動画を作成し、完成披露と法人設立20年記念もかねた地域向けイベントを実施できた。

運営委員会・総会などの開催状況

日程	種別	開催場所	検討内容など
5/14(土) 14:00～	運営委員会議	こて web併用	総会にむけ、議案書資料の作成
5/28(土) 16:00～	定期総会	こて	事業報告、決算報告、役員改選、事業計画、予算について
6/1(月) 15:30～	運営委員会議	こて	運営委員長の互選
8/27(土) 13:30～	運営委員会議	こて web併用	コロナ感染状況の共有、理念周知の動画作成について、20周年イベント開催について、時給の変更について、会計状況の確認
10/8(土) 13:00～	運営委員会議	こて web併用	理念周知の動画作成について、20周年イベント開催について、シェアハウス入居について、重度訪問介護資格研修について、会計状況の確認
12/3(土) 13:00～	運営委員会議	こて web併用	重度訪問介護研修、コロナ感染状況、従業員の休職退職など、理念周知の動画作成状況の報告、お披露目会(20周年イベント)の準備状況の確認
1/21(土) 14:00～	運営委員会議	こて web併用	お披露目会(20周年イベント)の直前確認

II 事業の記録ならびに成果

1. 居宅支援事業

事業内容	指定障害福祉サービス事業所、および指定共生型訪問介護事業所の運営
対象者	自立支援給付を受給している人、および障害福祉サービスから移行して要介護認定を受けている人
実施場所	対象となる障害のある人宅又は外出先など
実施日時	通年

2. 外出支援事業

事業内容	各自治体委託 移動支援事業の実施
対象者	大津市・草津市・守山市・栗東市より、利用決定を受けている人
実施場所	対象となる障害のある人宅を拠点として外出先など
実施日時	通年

障害者総合支援法における障害福祉サービス事業所として、居宅介護(身体介護・家事援助・通院介助など)、重度訪問介護、行動援護、同行援護を実施した。また同法の地域生活支援事業である移動支援事業を、各市と委託契約を結び実施した。さらに障害福祉サービスを利用していた後に介護保険に移行した人が、できるだけ変わらない支援を継続して利用出来るよう、介護保険法における共生型訪問介護事業所として居宅での支援を実施した。

近年、既存の利用者の心身の状態変化によって利用が増えることが多い。例えば、高齢となり身体機能の変化と共に認知症の発症も重なり、頻回に呼び出しのある方への対応などである。また、他事業所との併用だが他事業所の撤退やトラブルなどで穴埋めが必要となる例も多い。

以下、その他の成果を挙げる。

- ・大津市内のヘルプ事業所の協議会において、当事業所のサービス提供責任者が副会長を務めた。
- ・上記の協議会において予てより提言していたことであるが、大津市では家事の共同実践において、対象者が精神障害者である場合に限って身体介護ではなく家事援助となる慣例があったが、年度途中より他の障害と同様の取扱となった。
- ・コロナの影響で引きこもりがちであった方へのアプローチにより、利用再開に結びついた方が複数名あった。
- ・コロナ感染によるスケジュール調整などは、やはり第7波(7月頃)や第8波(11月頃)の際には続いたが、慣れたせいもあってか以前ほどの混乱では無かった。ただし、限られた従業員で業務を実施するため超過勤務時間がかなり多くなった。

※以下の4表は、障害福祉サービスおよび介護保険のサービスを含む。

利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大津市	63	60	67	68	64	68	69	65	65	66	64	65
草津市	16	13	14	14	12	14	15	15	13	13	13	14
守山市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2
野洲市	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
栗東	1	1	1	0	1	2	1	1	1	1	1	1
竜王町	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1
京都	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	88	82	90	89	84	90	92	88	86	87	84	87

- ・グループ支援のみの利用は、(参考:2021年度 月当たり合計利用者数 82名~91名)
人数にカウントしていない。(参考:2020年度 月当たり合計利用者数 66名~85名)

時間帯別利用回数(回)

(参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度計
日中	313	311	310	351	331	322	363	329	331	325	304	343	3,933	3,710
介保日中	14	15	15	14	17	16	15	10	16.5	14	14	16.5	177	144
早朝/夜間	300	309	308	321	292	291	315	280	296	299	281	316	3,608	3,574
深夜	96	94	94	100	99	96	99	96	102	101	89	98	1,164	1,154
回数	723	729	727	786	739	725	792	715	746	739	688	774	8,882	8,582

- ・日中 8:00-18:00
- ・早朝/夜間 6:00-8:00/18:00-22:00
- ・深夜 22:00-6:00

介護種別利用時間数(時間)

(参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度計
身体介護	86.5	88.5	90.5	90	67	69	81.5	66	68.5	61.5	68	69	906	1191.5
家事援助	35.25	42	35.5	37.75	44	40.25	40.75	42.25	40	36.5	35	35.75	465	518.25
通院介護	33	27.5	28.5	26	15.5	32	27.5	24.5	31	21	25	34	325.5	293
行動援護	36.5	37	28.5	36	34	40.5	37	33.5	31	31	27.5	30.5	403	415.5
同行援護	20.5	27	11	22	16.5	20	19.5	16.5	13	12.5	19.5	11	209	257.5
重度訪問介護	1645	1608	1606	1755	1663	1636	1756	1613	1673	1651	1529	1790	19921	19450
移動支援	356	287	343	380.5	310.5	325	563.5	361	351.5	363	326	352.5	4319.5	4350.7
グループ支援	7	26	15.5	37	10	27.5	18.5	55	14.5	16	39	104	370	253
介護保険	15	17	17.5	15	17.5	17	16.5	14	16.5	14	14	16.5	190.5	187
合計	2234.75	2159.5	2175.5	2398.75	2177.5	2207.25	2560.25	2225.75	2238.5	2206.5	2082.5	2442.75	27109.5	26915.91

従業員数(実働)(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤ヘルパー	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9
パート	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	4
登録ヘルパー	48	53	53	52	42	48	46	52	51	49	49	48
ヘルパー以外のパート	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1

- (参考:2021年度 登録ヘルパー 53~59名)
- (参考:2020年度 登録ヘルパー 53~63名)

常勤休職	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
パート休職	1									1	1	

人材確保は常に課題であるが、以下の工夫を試みた。

- ・龍谷大学の入学式に合わせ、事務所前でビラ配りを実施し、少なからず成果があった。
- ・年末年始には独自に手当てを設け、支援を継続出来るようにした。

3. 相談支援事業

事業内容 大津市委託 相談支援事業、機能強化事業、ならびに障害支援区分認定調査および、指定 計画相談支援事業の実施

対象者 主に、大津市内の障害がある人やその関係者など

実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人宅など

実施日時 通年

以下、3つの事業を実施している。当事業所の特徴として、事業所内に障害当事者が勤務していることで、担当相談員だけでは分からない情報を得ることが出来、助かることも多い。

委託相談支援事業	市内10事業所 (委託)	地域の障害のある人や関係者に対し、福祉サービスの情報提供／社会資源活用の支援／生活力を高める支援／権利擁護のために必要な援助／専門機関の紹介など、相談全般を担う。 付随して障害支援区分認定調査も実施。
機能強化事業	市内4事業所 (委託)	専門的な相談支援を要する困難ケースへの対応、自立支援協議会の運営、他の指定相談支援事業者への専門的支援等を実施。
計画相談	市内18事業所 (指定)	利用契約を結んだ障害児者との間で、状況把握／情報提供／計画作成／関係者との調整、会議／モニタリング等を実施。

■委託相談支援事業

今年度、特に力を入れたこととして、当事者同士の交流企画を意識的に開催した。また、他所での勉強会等にファシリテーターや情報提供者として協力することもあった。

	企画内容	対象	日にち	参加数
主催	旅行にまつわる情報交換	主に身体障害の方	6/4(土)	4人
	賃貸物件探しの情報交換	主に身体障害の方	7/23(土)	6人
共催	卒後のイメージ作りとしてGHと生活介護の見学会(夢翔会 みゅう と共同企画)	主に重心児(中高生)の親	8/27(土)	9人
			9/10(土)	7人
協力	自立支援協議会	医ケア児の親	9/26(月)	6人
	「当事者座談会(医ケアグループ)」			
	支える人の会 「ダブルケアと8050について」	主に知的障害のある方の親	2/22(水)	約25人

今年度の主な成果や課題

- ・入所施設から地域生活への移行の希望を実現できた。グループホームへの移行により、通所の再開、訪問リハの再開など、当人の主な希望は概ね叶えることができています。
- ・他事業所のヘルパーによる心理的虐待(暴言)が発覚し、虐待防止センターへの通報に至ったが、より早期に気付かなかったことが悔やまれる。
- ・運営の不安定なヘルパー事業所が多いことが課題。スタッフの退職や怪我などに伴い支援継

続困難等の連絡が入ること多く、都度、新たな事業所を探す必要があるが容易ではない。

- ・65歳での介護保険移行について、前年度、重度訪問介護の利用者については継続利用が認められる進展があったが、居宅介護等の利用者については、変わらず障害福祉課から介護保険申請への強い推し進めが続いており課題である。
- ・大津市危機・防災対策課より依頼を受け、避難行動要支援者個別避難計画の作成に携わることとなった。今年度は1名の作成に携わり、当該相談者の避難訓練などにも参加している。

以下、相談者の主な障害種別と相談内容を示す。

主な障害の種別

	知的障害	身体障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	難病	重症心身障害	合計
成人	24	35	8	2	2	16	0	87
児童	4	2	0	3	0	0	5	14
計	28	37	8	5	2	16	5	101

相談内容別件数(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービス利用等	77	86	100	69	72	112	68	63	106	80	93	96	1,022
障害や病状の理解	19	15	22	23	7	20	27	13	8	10	14	15	193
健康医療	21	11	27	35	17	12	20	26	15	7	23	15	229
不安の解消・情緒安定	7	3	3	6	3		1			1		3	27
保育・教育		1	1	1		3	2					1	9
家族関係・人間関係	6	8	4	0	3	3	5	3	5	1		8	46
家計・経済	8	3	7	2	4	2	2	1	4	2	1	5	41
生活技術	13	8	20	12	15	10	10	4	27	4	17	7	147
就労	0	0	0	0	1		1	5	6	5		3	21
社会参加・余暇活動	2	12	2	5	6	4	4	1	3	3	1	1	44
権利擁護	7	2	0	0	4	2	8	2	5	4	1	1	36
合計	160	149	186	153	132	168	148	118	179	117	150	155	1,815

■機能強化事業

他の相談支援事業所への支援として、自立支援協議会の中でモニタリング検証等を通じてグループスーパービジョン、初任者研修を受講される際の個別課題へのフォローのほか、日常的に電話などでの相談を受け対応している。

自立支援協議会において「重度訪問介護のすすめ」と題した講義を実施し、実施事業所が少ないと言われる重度訪問介護の支援が広まるよう、その良さをアピールした。ほか、移動支援PJ、高齢PJ、高次脳機能障害連携会議などを担当し、各会議や研修会の企画などを実施。

■計画相談

契約者数…73名(うち児童16名)

計画相談件数(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成(新規・変更)	7	3	3	8	5	3	2	3	2	1	3	5	45
モニタリング	9	6	3	5	3	6	5	2	6	6	1	1	53
合計	16	9	6	13	8	9	7	5	8	7	4	6	98

4. 福祉輸送事業

- 事業内容 特定旅客自動車運送事業の実施
 および大津市医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業の実施
- 対象者 自立支援給付の受給や移動支援の決定を受けている人
 および大津市医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業の利用者
- 実施場所 滋賀県内を起点とする
- 実施日時 通年

ヘルパー利用時の乗車については運送事業の許可が必要であり、特定旅客自動車運送事業(道路運送法43条)、および自家用自動車の有償運送(同78条)を実施している。

移動支援、居宅介護(通院介助・身体介護など)、重度訪問介護などの利用時に、乗車中は介護給付の時間とせず、福祉輸送料金を徴収している。ただし大津市においては、2021年7月移動支援事業の制度変更の際、車両移送支援という新しい類型が設けられ、月5時間までの乗車については1割負担(例:1時間70~100円程度)で利用出来、有償運送と比して安価である。

福祉輸送利用状況 (参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度計
利用者数(人)	71	66	71	71	60	69	69	72	67	74	63	70		
利用件数(件)	283	270	282	319	260	294	305	306	284	275	267	294	3,439	3,340
走行距離数(km)	3,970	4,478	4,222	4,336	4,015	4,187	4,597	5,307	4,246	3,859	3,723	4,282	51,222	47,151

大津市移動支援事業車両移送型の利用を含む。

一昨年度より受託の「大津市医療的ケア児童生徒の通学に係る保護者支援事業」を継続して実施している。特別支援学校の送迎バスに乗れず、日頃は家族が送迎している方が対象となる。年度途中、利用者が5名から6名となった。1人当たり年間10回の制限があるため、より多く利用出来るようにと声を上げたきたが、その成果があったのか次年度は年間12回と僅かながら増える。

利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	2	2	0	1	3	3	2	0	2	6	3	28

2023年3月末現在の車両数、運転者数は以下の通り。今年度、車両の入替は無い。

- ・事業所保有車両…8台
- ・運転者…17人 (常勤 11人／登録ヘルパー 6人)

5. 私的居宅支援事業(ちゅぷ)

- 事業内容 私的居宅支援事業「ちゅぷ」の実施
- 対象者 支援が必要な状況と当法人が認めた人
- 実施場所 対象となる障害のある人宅又は外出先など
- 実施日時 通年

当事業は、支援が必要な状況でありながら、制度の狭間などにあり、公的な支援が得られない場合に、有料であるが支援者を派遣するものである。利用料金は事業所で独自に設定し、最初の1時間までを1,000円、以降30分毎に350円としている。以下の3点を主な目的としている。

- ①制度の狭間などにあり居宅介護などを利用できない人のニーズに応えること
- ②資格を持たない人も関わることができること
- ③成果を上げることでその必要性を行政に訴える材料とできること

今年度の利用は無かった。過去の利用は、入院に関連するものが主である。

(参考:2016～2018年度…利用0件／2019年度…5件／2020年度…0件／2021年度…2件)

6. 研修開催事業

事業内容 指定 居宅介護従業者養成研修事業の実施
 対象者 障害のある人の支援に関わる人および関わろうとする人
 実施場所 瀬田商工会館および周辺の地域
 実施日時 年1回(別記)

今年度も、より多くのヘルパーを確保するため、ヘルパー研修を開催した。草津市に所在するNPO法人ディフェンスとは、研修開催の時期をずらすことで、共に協力体制を取っている。

従前より、講師・講師補助として障害当事者の協力を得ており、講義、実習共に、より実践的な内容になるよう検討を重ねつつ、幅広い障害当事者の協力を得ながら、実施している。

コロナ禍であったが、比較的感染者の少ない時期であったため、会場の換気、席の配置の工夫など、感染予防を実施した上で、例年通りの会場で開催できた。

実施研修内容	実施期間	会場	定員	応募	受講	修了
重度訪問介護従業者養成研修	11/13,19,20 (3日間)	瀬田商工会館	30人	14人	12人	12人

7. 広報・啓発事業

事業内容 通信「ぬぷぼん」の発行などを通じての広報・啓発活動
 対象者 不特定
 実施場所 事務所・各開催地など
 実施日時 随時(別記)

従前からの課題であった理念の周知について具体的に動いた年であった。周知の方法として動画を採択し、龍谷大学ボランティア・NPO活動センターの紹介により、同大学社会学部コミュニティマネジメント学科学生の協力を得ながら作成した。

上記、動画の完成披露の目的および法人設立20年でもあることから、地域向けイベントを企画した。動画の披露はもちろん、サイコロトーク、当事者の語り&写真展、jazzコンサート、参加型ア

ートイベント、ゲーム大会などを実施した。同じイベントを繰り返し実施することで、密を避けることと、各々の都合の良い時間で参加してもらうことを目指した。生憎、前夜からの降雪のために参加出来なかった人があったことは残念だが、利用者、従業員など関係者のみならず、地域の方や通りがかりの方も参加され、多いに賑わった。動画については、法人Webサイトに掲載予定である。

・外部研修講師など

実施内容	担当	実施機関	実施日
重度訪問介護従業者養成研修(うち2h)	阿部	NPO法人ディフェンス	6/11(土)
おおつ合同新人研修(うち2.5h)	染井	大津自立支援協議会	6/7(火)
相談支援専門員 初任者研修 3日目～7日目ファシリテーター およびインターバル実習のフォロー	染井	滋賀県自立支援協議会	7/12(火),13(水), 8/23(火), 9/27(火),28(水)
相談支援専門員 現任者研修(部分)	染井	滋賀県自立支援協議会	11/15(火)

8. 各種研修への参加・実施

事業内容 従業員の資質向上のため各種研修へ参加、又は実施する。

対象者 従業員

実施場所 各開催地など(別記)

実施日時 随時

登録ヘルパーも含め、すべてのヘルパーが、年間通して1回以上の研修に参加している。受講者に偏りがあり、特に学生など若い従業員の参加が少ない事が従前よりの課題である。そのため、研修の案内を紙チラシやグループLINE上の文字の案内だけでなく、短い動画にまとめることを試みた。

主催した研修

内容	実施日時	会場等	受講者
気をつけたい表現(ケアする仕事とジェンダー) 講師:彩社会福祉事務所 坂本彩さん	8/5(金) 18:00-19:30	こて	常勤3名,パート1名 登録4名
当事者(利用者)とホンネで話そう 講師:障害当事者3名	8/30(火) 18:30-20:30	こて	常勤1名 登録3名
ことばの引き出しを作る研修 ～こういう時どうする?～	9/19(月) 18:30-19:30	こて	※台風のため中止
当事者(利用者)とホンネで話そう 講師:障害当事者3名	9/21(水) 10:00-12:00	こて	常勤1名 登録3名
理念動画視聴と意見交換	3/10(金)19:00-	こて,Zoom	常勤1名,登録4名
	3/11(土)14:00-	こて,Zoom	常勤1名,パート1名,登録5名
	3/13(月)10:00-	こて,Zoom	常勤1名,登録4名

虐待防止研修	3/24(金) ～3/31(金)	研修動画視聴と チェックシート実施	全従業員
--------	---------------------	----------------------	------

(外部研修への参加については記載を省略する)

9. 交流事業の開催

事業内容 フリースペースこてを活用した交流事業の開催
 対象者 当法人の各事業の利用者、関係者、および地域住民など
 実施場所 大津市一里山の賃貸物件
 実施日時 随時(別記)

事務所の隣のテナントを「フリースペースこて」として、以下のように活用することで、地域の方との交流の場としている。

1. 「つどい処ばばるで」の開催

実施日時	毎月 第2木曜日 16:00～21:00(夕食提供) 毎月 第4土曜日 10:00～16:00(昼食提供) ※8月(木)(土)および、11月,12月,1月,3月の(土)は開催せず
------	---

ここ数年、感染予防のため休止した時期があったことや、当方の事情(他事業での人員不足など)で開催出来なかった日もあった。それらの影響か定かで無いが、参加人数の減少傾向を感じる。一方でほぼ毎回の参加者もあり、一部の方には定着しているのも確かである。各々、都合の良い時間に来られ、各々の時間を過ごされている。

2. レンタルスペース

地域の団体や個人の活動に使っていただけるよう、場所貸しをしている。利用件数…15件
 貸し部屋料金

基本料金	100円/時	障害当事者や団体などの場合は免除あり
夜間料金	+100円/時	
冷暖房使用料	+ 50円/時	エアコン・ペレットストーブなどを使用する場合
キッチン使用料	+100円/回	ガスを使用し調理などを実施する場合
ゴミ捨て委託料	+100円/回	ゴミを置いて帰る場合(分別は各々で実施)

3. フリースペース

その他、以下、交流会等で活用している。

- ・1時間までの利用はフリーとしており、食事や休憩の場として。
- ・感染予防のため、通常の外出先に行くことを避け、すごしの場として。
- ・ヘルパーとの外出時に、食事場所として立ち寄る方も多い。

4. 避難所としての備え

災害時には、福祉的な避難所として活用される可能性があることや、業務中の災害時には利用者や従業員に限らず地域の方の役に立てるようにと考え、発電機や長期保存食など備蓄している。今年度、簡易トイレを追加で購入した。また賞味期限の近い保存食は入れ替えた。

10. シェアハウス運営事業

事業内容 シェアハウス「ポッシュ」の運営、生活体験室の運営、および交流事業の実施
対象者 居住者および近隣住民
実施場所 大津市大萱の賃貸物件
実施日時 通年

年度当初4名の入居であったが、7月「急に住まいの場を失った。公営住宅を希望しているが当選するまでの住まいの場が必要」と相談を受け入居に至った。年度末時点においては、継続して居住中である。

7月、他団体からの問い合わせを受け、見学および事業の説明を実施。

9月、消防署の協力を得ながら避難訓練を実施。

11月、シェアハウスの取組について、全国的にも少ない例であるため、共同連全国大会の分科会にて発表の機会を与えられた。各地の取組について学ぶ機会にもなった。

11. 日中一時支援事業

事業内容 日中一時支援事業の実施
対象者 各自治体より利用決定を受けている人
実施場所 大津市一里山の賃貸物件
実施日時 通年 週2回

2020年6月に開始し、現在は(火)(日)10:00～15:00、事務所と同じ建物の2階テナントにて実施している。季節ごとに、畑作業、味噌造りなどイベントを企画することもあり、当日の利用者の中で希望された方が参加されるが、基本的に過ごし方は自由としている。休日をゆったりと過ごしたい方、菓子作りなど目的のある方、交流を期待する方など様々である。

感染予防対策として、密を避け「フリースペースこて」(1階)も活用することで分散している。基本8名までの利用定員としており、日曜日は希望者が多いため調整し利用してもらっている。

日曜日や祝日も開催していることは、地域の社会福祉資源の中ではめずらしいようで喜ばれている。また、利用者の費用負担を抑えるため、1人200円の食材費で工夫して調理し、食事提供している。

龍谷大学ボランティア・NPO活動センターの要請を受け、ボランティア体験者を受け入れた。前年度は感染予防のためWebを通じてであったが、今年度はリアルな交流が出来た。

らて利用状況

参考

利用状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2021年度
開所日 (日)	8	10	8	9	9	8	9	9	8	8	8	8	102	102
延人数 (人)	53	64	46	50	48	44	53	53	51	51	53	54	620	554
平均人数 (人)	6.63	6.40	5.75	5.56	5.33	5.50	5.89	5.89	6.38	6.38	6.63	6.75	6.08	5.43

12.その他

各事業には分類されないが“当法人らしい”と言われるような活動について記載しておきたい。

- ・従業員かつ利用者／利用者かつ役員／元従業員で現在は利用者など、複数の立場で関わる方が多くあり、立場や枠組みを超えた人間関係がある。
- ・障害者手帳を持つ従業員が多く、障害者雇用率は全従業員の勤務時間換算で12.7%（法に基づく計算方法では約20.7%）である。
- ・利用者やその家族等からの困り事や相談事で、当事業所で実施するサービス内容には該当しないことであっても、各従業員のスキルで可能なことであれば、できるだけ対応している。
- ・各事業で関わる方から不要となった物を預かり、必要な人の元に届くよう仲介することがある。今年度の例で言えば、洗濯機・電子レンジ・炊飯器・掃除機・ベッド・スロープ・車イス・衣類・洗剤・食品などである。

事業支出額(全事業計) 113,408,504円